



◆ 藤澤充マイストリー ◆

幼少からの夢は「仮面ライダー」になること。生物として仮面ライダーになれることを信じて止まなかった少年は、小学生の時に空手を始めた....。これが武道との出会い。リアリティに目覚めた中学生の頃には既に某劇団オーディションに挑戦して無事合格し、そこからメディアの中でのヒーローを目指して本格的に歩み始めた。高校時代は生徒会長 & 部活キャプテンを経験し、卒業後は芸能プロダクションに所属。更なる「仮面ライダーライフ」を上げる為に空手に続きキックボクシングそしてテコンドーを学ぶ。しかし1つの目標に全力を注ぐ事で視野が狭くなる事を懸念。様々な職業体験の必要性を感じて、営業、電気工事、車整備、企画会社、保険系、薦職、土建業、運転手、販売店、配達業種、スポーツジム、そして飲食店経営等を経験。芸能界においても舞台経験を含む沢山の仕事をさせて頂いた。そして遂にチンピラ役ながら念願の「仮面ライダー」に出演させて頂くことができた。その後「戦隊ヒーロー」への出演のチャンスを頂き更に夢へ邁進して行くだけのはずであったが、止むを得ない事情によりこれを断念。長年追い続けた夢を突然失う形となつたが、それが初めての本格的挫折経験として思った以上に重く心身にのしかかった。

目標を失い、人と接するのが嫌になって引きこもり生活を始める。挫折も経験だと前向きに進もうとしていた自分であったが、それも心が折れてしまったままでは無力であった。資金も底をつき始めて生活もままならなくなつて行く中、自分を救ってくれたのは先輩の一言だった。「その気になって上り始める時のお前は凄い！」信頼する先輩から期待された事の嬉しさで、半年の引きこもりから立ち上がる力を得た自分は、恩人に復帰した自分を見せたくて多種の職務経験を生かした仕事を始めた。そして武道やパフォーマンスの経験を存分に活かせるテレビゲームの企画やモーションキャプチャーなどの仕事に関わることで喜びを感じ始める。



しかしひたすら身体を酷使し続けた為に、椎間板ヘルニアを発症し寝たきりの生活を余儀なくされた。それは約3ヶ月間続いたが、そのことによって長期的な視野に立った身体のケアと身体の安全を確保することの重要性を痛感。新たな方向性を模索し始めてフィットネス・インストラクターの学校に入校。その後も様々な出会いに支えられながら、糺余曲折を経て現在に至る。

ずっと続けていた武道。そこには緊張感が生み出す美德の素晴らしさがあり、自己の鍛錬による表現力の養成にも繋がった。自己陶酔を中心とし、表現を技とし、自己との対峙を体とする....。これが戦わない武道「煌伎匠 - OHGINOSHO-」の基本理念。自信に満ち溢れる自分。人生における推進力は自己陶酔から生まれる自信が常に活力になっているから....。内なる仮面ライダーは自分で作る事が出来る。人それぞれがヒーローなのである。

このことを家族や社会のために日々戦い続けている多く人たちに、そしてこれからを担う子供たちに伝えてゆく....。これが今の私の目標であり使命となっています。



藤澤充
FUJISAWA MITSURU
タイガー
Tiger

